

平成29年第4回島田市教育委員会定例会会議録

日 時	平成29年4月27日(木)午後2時00分～午後3時23分
会 場	プラザおおるり 第1会議室
出席者	五條早規子委員長、北島正委員、牧野高彦委員、秋田美八子委員、濱田和彦教育長
欠席者	
傍聴人	
説明のための出席者	畑教育部長、鈴木教育総務課長、池谷学校教育課長、高橋学校給食課長、南條社会教育課長、加藤スポーツ振興課長、小澤図書館課長、中村文化課長
会期及び会議時間	平成29年4月27日(木)午後2時00分～午後3時23分
会議録署名人	北島委員、秋田委員
教育部長報告	
事務事業報告	教育総務課長、学校教育課長、学校給食課長、社会教育課長、スポーツ振興課長、図書館課長、文化課長
付議事項	(1) 島田市教育環境適正化検討委員会委員の委嘱または任命について (2) 六合公民館運営審議会委員の委嘱について (3) 初倉公民館運営審議会委員の委嘱について (4) 島田市社会教育委員の委嘱について (5) 島田市立図書館協議会委員の委嘱について (6) 島田市市史編さん調査協力委員の委嘱について (7) 島田市博物館協議会委員の委嘱について
協議事項	
協議事項の集約	(1) 事務局から提案するもの (2) 各委員が提案するもの
報告事項	(1) 平成29年3月分の寄附受納について (2) 平成28年度寄附受納について (3) 平成29年3月分の生徒指導について (4) 平成29年度島田市生徒指導方針について (5) 公民館類似施設の運営委員会委員の委嘱について (6) 川根地区センター運営委員会委員の委嘱について (7) 島田市生涯学習推進協議会委員の委嘱について

	<p>(8)平成29・28年成人式新成人における愛着度及び帰巢性に関するアンケート調査結果（成人式新成人アンケート追加報告）について</p> <p>(9)平成30年島田市成人式実施概要</p>
会議日程について	<p>・次回島田市教育委員会定例会 平成29年5月25日（木）14:00～ 第一中学校 地域連携室</p> <p>・次々回島田市教育委員会定例会 平成29年6月30日（木）14:00～ 島田市役所 第二委員会室</p>
委員長	<p>開 会 午後2時00分</p> <p>皆さん、こんにちは。よろしくお祈いします。開会の前に、会議進行上のお願いをいたします。</p> <p>発言は、全員着席にて行ってください。発言する場合は、指名された方以外は、委員名、職名を告げ、発言許可をとってから発言してください。付議事項は1件ごと採決します。</p> <p>では、ただいまから、平成29年第4回教育委員会定例会を開会します。よろしくお祈いします。</p> <p>会期は、本日4月27日の一日とします。</p> <p>会議録署名人は、秋田委員と北島委員にお願いします。</p> <p>それでは、教育部長報告からお願いします。</p>
教育部長	<p>教育部長報告</p> <p>私からの報告は、先ほどの職員紹介の関係でこの一覧に示したとおりでございます。よろしくお祈いいたします。</p>
委員長	<p>教育部長報告について、質問がありましたらお祈いいたします。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>それでは、無いようですので次に移ります。</p>
委員長 教育総務課長	<p>事務事業報告</p> <p>事務事業報告について、補足説明のある課は説明をお願いします。</p> <p>それでは、2ページ目をお開きください。</p> <p>まず実施の報告ですが、3月29日に横断旗の贈呈式がありました。これにつきましては、島田地区安全運転管理協会から横断旗18本を頂戴しております。市内に小学校が18校ございますので、各小学校に1本ずつ配付を完了しております。</p> <p>それから、予定でございますが、5月11日から12日まで、及び17日から19日まで、教育長が出張により不在となりますので、御了承願います。</p>
学校教育課長	<p>お手元の資料の3、4、5ページになります。</p> <p>まず3ページですが、4月3日、新年度スタートしまして初任者研修会、小中合わせて20人の初任者がスタートしました。学校保健事務連絡会、部活動指導員研修会等、次々と開かれております。</p>

4月6日からは、入学式、始業式が各校で無事開催されたと聞いております。

4月18日は、全国学力学習状況調査がありました。新しい学力観に基づいた、やや子供たちにとっては難しかったという感想が聞かれています。

4月22日は、休日参観等でPTA総会も併せて行っているところです。

4ページへ行きまして、4月下旬からは家庭訪問を実施している学校がたくさんあります。それと同時に、遠足も小学校で多く開催されています。

中学校は、4月の連休からは中学校総合体育大会、市総体といわれるものですけれども、スタートします。

5ページへ行きまして、就学支援委員会が5月9日から始まります。近年、非常に多くの課題を抱えている子供が多くなっております。

5月12日には教育方法研究委員会、5月13日はサタデーオープンスクールが開校します。今年度も大変人気が高く、年度当初から定員の20人を超えて、現在では26人でスタートする予定です。

5月15日からは、中学校で修学旅行、勤労体験等がスタートします。

同じく5月16日から、市のいじめ問題対策連絡協議会、保育園・幼稚園・小学校合同研修会等が行われます。

補足説明をいたします。資料は6ページをご覧ください。

まず実施ですが、3月29日には中部学校給食センターの給食配送トラック2台の更新をしまして、納車されました。

これにつきましては、20年の使用をめぐりに更新しておりますけれども、今回は、2トン車、3トン車、各1台、総額では1,285万2,000円となっております。

なお、今回購入の2台と平成26年度購入2台の合計4台につきましては、トラックの両サイドのボディは、島田市教育委員会の文字以外は特に記載はなく、ホワイトボードのような状態となっておりますので、今、島田市が進めております島田市緑茶化計画の1メートル四方のシールを両側に貼る予定であります。

これにつきましては、ちょうど八十八夜が5月2日ということもありまして、5月2日からの運行開始ということで記者への情報提供をしていきたいと思っております。ただ、いまだに白い部分が多くありますので、他課とも連携して、その他の利用を検討してまいります。

4月5日のところですが、学校給食に関係する職員、これは栄養教諭、栄養士、調理員、配送員、学校配膳員、事務員など、中部と南部に約130名の職員が関係しております。今回合同での研修会を初めて開催いたしました。主に衛生管理、道路安全、アレルギー食、異物や嘔吐物の扱いなどの講義の他、班別に分かれての研修会を行いました。

社会教育課長

4月14日には、薬剤師による1学期に一度の定期衛生検査を受けております。

また、4月20日は、年に1回となりますが、中部保健所の定期立ち入り検査を受けております。

4月21日ですけれども、各学校の給食担当の主任教諭、新任の方もいらっしゃいますので、全小中学校25校の担当教諭を集めまして研修会を行っております。

その他、予定のところですが、5月16日から18日、職場体験学習ということで、島田第二中学校の2年生3人を中部学校給食センターへ、六合中学校2年生2人を南部学校給食センターでそれぞれ受け入れをしてまいります。

社会教育課の事業について、補足いたします。7ページからご覧ください。

まず先に訂正、それから追記を、少したくさんありますが、お願いしたいと思います。

まず7ページの中ほど少し上、4月18日の最初の青少年育成支援センター学区会（金谷中学校）、最後に区と入れていただけますか。学区会ですので、金谷中学校区。

二つ置きまして、4月19日の同じ学区会（川根中学校）も最後に区を、中学校区とお願いいたします。

それから、人数の追記をお願いいたします。

4月20日、最初の項、子育て広場「ぐう・ちょき・ぱあ」ですけれども、参加者13組27人。

次の家庭教育学級担当者合同会議は、参加者73人。

次の学区会ですけれども、初倉中学校区と入れていただきまして、次の金谷中学校は誤植でございます。大変失礼いたしました。金谷中学校は削除をお願いいたします。参加者は17人です。

続いて、8ページにまいりまして、一番上、川根地区センター高齢者学級開級式は、参加者10名。

次の第5小学校も、家庭教育学級は46人。

同じく五和小学校については、68人。

次の相賀小学校は、19人。

次の金谷公民館高齢者（もみじ）学級は、31人。

次の金谷公民館おやじの井戸端講座は、13人。

24日のペアレントサポーター定例会は、10人。

次の支援センター学区会（第一中学校区）、こちらも区を追加、お願いいたします。参加者は26人です。

次の25日の六合公民館の高齢者学級は、参加者90名。

続きまして、26日の第4回初めて0歳児をもつ親の講座は、18組36人。

26日、1件記載漏れがございまして、支援センターの学区会、第二中学校区。第二中学校区は28人の参加です。場所は、プラザおおりりです。

ご覧のように、4月の講座については、親学、あるいは家庭教育学級、各種市民講座等が各地で相次いで開校しております。

また、青少年支援センターについては、各学区会を皮切りに活動を開始しているところです。

今後の予定につきましては、また追記をお願いしたいのですが、5月8日の上の辺りにお書きいただきたいと思いますが、4月28日金曜日、やはり青少年支援センターの学区会、六合中学校区。予定は21人の参加です。場所は六合公民館です。

今後の予定につきまして、補足ですが、5月13日に開催いたします、はばたけリーダーと次のしまだガンバ!については、それぞれ多数の応募がありまして、はばたけリーダーにつきましては、昨年度10人のところ、今年度17名の応募がございました。

しまだガンバ!については、定員40人に対して59名の応募がございまして、抽選の結果、新規の方がちょうど42人いたものですから、新規の方を採用しました。ただ、通知後キャンセルが3件ございまして、最終的には39人の参加でございます。

参加予定の人数については、それぞれ欠席者、あるいは指導員等も含めた数字でございます。お手元にしまだガンバ!のチラシも入れてございますので、また参考にご覧ください。

それから、次の5月14日の金谷公民館子ども科学実験隊。これは毎年の中身を工夫して開催しておりまして、中山先生に大変おもしろい実験をやっていただいておりますが、今年度も別途お分けしましたチラシのとおり、4回の日程で開催したいと思います。

スポーツ振興課長

事務事業の概要につきまして、補足説明をさせていただきたいと思っております。9ページをご覧くださいと思います。

最初に、人数の追記をお願いいたします。

実施の一番下の4月22日の島田市体育協会総会でございますけれども、参加者数50人です。よろしく申し上げます。

それでは、実施のほうからですが、例月のことでございますけれども、施設の利用受け付けを行っております。

その他、主なものとしましては、4月6日木曜日に、3月の定例会で御承認いただきました、スポーツ推進員の委嘱状の交付式と定例会を開催させていただきました。再任が26名、新任が4名、合計30名ということで、平成29年度、平成30年度の2年間の任期で委嘱状の交付を行いました。これから2年間、スポーツの普及と島田市のスポーツ振興に御尽力いただく予定となっております。

次に、予定でございますけれども、中段になりますが、5月17日水

図書館課長

曜日に、島田市スポーツ少年団の総会が開かれる予定となっております。この総会におきまして、平成29年度の事業計画等が決定されてくることとなります。現在、平成29年度のスポーツ少年団の受け付けを行っております。

事務事業ではないのですが、1点御報告をさせていただきたいと思っております。昨年度、平成28年度のスポーツ賞で表彰しました、島田第二中学校の今度2年生になった根付海龍さん。スケートボードの選手なのですけれども、今月日本選手権がありまして、そこで3位となりまして、強化指定候補に選ばれ、世界選手権の代表が選抜される予定となっておりますので、情報として御報告させていただきます。

まず事務事業の追記をお願いしたいところがございます。10ページをご覧くださいと思います。

中段よりやや下のところ、4月20日のキッズブックですけれども、参加者が32名ございました。

それから、一番下のところ、下から3行目と2行目になります。おはなし宅配便の五和保育園は、参加者が64人でした。それから、大津保育園は41人になります。

主な事業につきましては、図書館の定例的な事業のほかに、4月20日から5月9日ですけれども、金谷図書館の展示コーナーにおきまして、博物館の分館の展示、永田治子さんの絵画展を併せて実施しております。絵本「金のりす」の原画を展示しております。

それから、4月23日から5月12日ですけれども、こどもの読書週間に併せまして、各館で特集コーナーを設置しております。島田図書館では「アンデルセン」、金谷図書館につきましては「瀬田貞二生誕100周年」、それと「むかしばなし」の展示です。川根図書館につきましては、「心がホッとあたたまる本の時間を」ということで、各館で実施しております。

次のページに移りまして、今後の予定ですけれども、中段より下になりますが、5月16日から18日に、島田図書館、金谷図書館において、中学生職場体験学習の受け入れをいたします。島田図書館では、第二中学校の2年生を2人、六合中学校の2年生を2人、金谷図書館では、金谷中学校の2年生を2人、受け入れることとなっております。

文化課長

最初に追記をお願いいたします。12ページの下の部分になります。学芸員によるギャラリートーク、参加者4人です。

おもちゃ病院、参加者9組となっております。

12ページの上を書いてあります、カタクリ園の公開。昨年より日にちは多くしましたが、開花の時期が遅かったということで8,000人、昨年は1万1,289人でしたので、その分少なくなった状況になります。

そして、皆さんのお手元に博物館の年間スケジュール、下のほうにございますでしょうか。それも、併せて見ていただければと思います。

見開きを開いていただきまして、4月4日から5月14日まで収蔵品展を開催しております。収蔵品2,800点から、花鳥風月をテーマに厳選した55点ということで、上村松園の代表作の一つ「春苑」を4年ぶりに公開しております。

4月8日になりますが、島田市民合唱祭。2台のピアノ伴奏による第九の合唱ということで、既に8日、15日、22日と3回行っております。第2回のときに、予定しています100名のうち70名の方が既に参加をしていただいております。

これは、第九を8月8日、おおるりホールで歌うのが第三部となりまして、その第一部には、平成28年度島田市芸術文化奨励賞を受賞しました、榛葉樹人・薫人御兄弟にコンサートをやっていただく予定となっております。

続きまして、4月9日の仲道郁代ピアノ・リサイタル。入場者590人と大勢入りまして、演奏の3曲目の後に島田市で所有しているベーゼンドルファーの鍵盤を引き出して、来場した子供にベルトを触ってもらったりしました。そして、普通のピアノよりも、鍵盤が9個多い、そのベーゼンドルファーならではの特徴も説明していただきました。

先ほど図書館のほうでも話が出ました、永田治子展「息する場所で」というのが4月22日から開催しております。永田さんにつきましては、旧島田市の出身ということで、今回展示会だけではなくて、子供に特に興味を持っていただけるような絵本を作ってみようとか、花のデッサンを鉛筆でやってみよう、そういうものを取り入れております。

次に、ページをめくっていただきまして13ページになります。

4月29日、ゴールデンウィーク期間の幕開けとしまして、土曜日ですが、昭和のモーターショーを行います。そして、連休の5月5日については、こどもの日の集いということで、昭和の遊びを楽しもうということで、ビー玉、めんこ、三名槍と写真を撮ろうという催しをいたします。

そして、その下の部分は、皆さんにお配りしました博物館のチラシの後ろのページの真ん中辺で、今川氏の古文書講座、歴史講座、刀鍛冶講座、しまはくワークショップ、それがスタートいたします。

ありがとうございました。

補足説明が終わりました。事務事業の概要について、質問がありましたらお願いいたします。

まず訂正をお願いをしたいと思います、教育総務課、予定のところ、27日の今日の定例会の場所が第一中学校、これはおおるりに直していただきたいということ。

それから、これは感想ですが、幼児教育に関するような内容が大変充実してきているなどと思います。社会教育課のぐう・ちよき・ぱあもそうですし、図書館課のおはなし宅配便にしても、大変大勢の方を集め

委員長

教育長

委員長
C委員

て事業をされていることは大変ありがたいなと思います。近年の教育の中、幼児、それから小中の連携ということをすごく感じられていますし、島田市の教育大綱においても幼児をきちんと取り上げている。それから、市長の施策の中でも、幼児教育または子育て世代への施策というのは大変充実してきていることを考えますと、大変いい取り組みだなと思います。また今後ともいろいろなところで連携しながら幼児教育への御配慮をお願いできたらありがたいと思います。

その他ございますか。

学校教育課の関係で、まず一つ目が、4月3日に部活動指導員研修会、参加者9名ということでありました。部活動については非常に厳しい、いろいろな問題もあると思いますが、話題で特に出たこと、あるいは皆さんでお話されたことがあれば聞かせていただきたいというのが一つと、それから5ページの予定のところ、5月15日、あるいは5月18日、勤労体験とありますが、学校給食課の6ページの職場体験学習と同じと考えてよろしいですか。名前が違うけれども、同じということでもいいですね。

学校教育課長

最初に、部活動指導員研修会ですけども、特に意見が出たということは聞いていませんが、学校側から、この部活動指導員については、指導した影響もあって教員も大変減っている中、部活動の指導を助けていただく指導員の方をもっと増やして欲しいという意見をいただいております。

それと、勤労体験のほうは同じものであると思いますけれども、給食課長、よろしいですか。

学校給食課長
C委員
委員長

はい。

はい、分かりました。

よろしいですか。

私から一つ。今、C委員の勤労体験の言葉なのですが、図書館課と文化課に、金谷図書館とみんくるというのがあるのですが、私たちは同じと分かるのですが、先ほどの体験の言葉と同じように、教育部の中で共通した一つの言葉のほうがいいかなと思いました。

社会教育課長

みんくる、この施設については非常に分かりにくい状況で、旧金谷町を引き継いだときに、分かりにくいなどは思っておりますけれども、改めて御紹介しますと、建物に看板がついているところがございますが、みんくるは社会教育課所管の金谷公民館と図書館課所管の金谷図書館が、設置条例がある施設として、その2館が入っています。建物として生涯学習センター、この通称がみんくるというようになっている。ただ、聞くところによりますと、地元の方々が全て混同、一緒のように考えていらっしゃるのでは、使い分けは非常に重要だと思います。

ですので、今、御指摘がありましたけれども、やはりどこでやった

委員長

かということを確認にする場合にあっては、金谷公民館であれば金谷公民館、図書館であれば図書館というように正確に表記すべきかと思えます。

ただ、悩ましいのは、みんくるという名前で目指してくる方がいらっしゃると思いますので、何か案内、チラシのようなときに、補足的にみんくるという表記をうまく使う必要があるかなと考えております。この点については、市民の方からも御指摘をいただいているので、気を付けなければならないと思っております。

C委員

分かりました。ありがとうございます。

何かございますか。

社会教育課長にお伺いします。

社会教育課長

7ページ、前にも聞いたかもしれませんが、青少年育成支援センター学区会、どういう方々が集まってやるのかということ。

それから、下から三つ目の家庭教育学級担当者合同会議、73人集まっていたので、どういう話が出たのか教えてください。

まず青少年育成支援センターですけれども、青少年の育成のために、健全育成と補導活動の2本立てで活動しております。

やっていたらいる方は、健全育成に関する各団体の方々の中から担当の方を出していただくのと、地域の中から、自治会から担当の方を出していただくところが主な構成員になっております。もちろん学校からも出ていただいております。

各学区ごと、1年間の補導の計画と、それから健全育成の内容については、各学区ごとに違うものですから、こちらの計画を立てることが学区会になっております。

ただ、昨今、夜に徘徊している子供はほとんどおりませんので、この補導活動を今後どのようにしていくか、議論が分かれるところでして、今年度の重要なテーマとして検討していきたいと思っております。

続きまして、家庭教育学級の内容ですけれども、主に小学1年生の保護者を対象に学級生となっていていただいております。

この担当者会議は、学級長と会計、役員と、それからお世話をしていただく主事と呼んでおりますが、学校長の方々に出てきていただいて、1年間の活動を検討していただく合同会議となっております。

C委員

ありがとうございます。

委員長

その他、ございますか。

A委員

今の家庭教育学級担当者合同会議で補足なのですけれども、説明の後、学級長、会計の方々とフリートークの時間を設けて、現時点での進捗具合ですとか、あと不安に思っていることがないかとか、そういうことを出し合って、役員になられた方の負担や、精神的な、気持ちの上での負担が少しでも軽くなればと皆さんで情報交換の場も設

	<p>けられました。</p> <p>今回家庭教育学級の学級長、会計になられた方の中には、子育て広場「ぐう・ちよき・ぱあ」ですとか、以前までありました「みんくる・いどばた」に赤ちゃんを連れて通ってくださっていたお母さん方が、今度は家庭教育学級の役員として、またこの場に参加して下さったり、第一小学校などは、今度はそこから、さらに役員をやられた後、推進グループにも入ってくださっている方がいて、社会教育課の活動の中でそういう流れがだんだんできてきているので、また引き続きつながりを大事にしていきたいと思っております。</p>
C委員	<p>今の件ですけれども、社会教育課長にお願いですけれども、家庭教育学級、非常に有意義な場だと思います。そう言いながらも、役員になる方は非常に負担に思われている。役員やりたくないな、だけれども家庭教育学級には出たいなという人が多いと思いますので、ぜひ負担を軽減できるような、うまいやり方を皆さんで考えていただければと思います。よろしくをお願いします。</p>
社会教育課長	<p>御指摘は、昨年も議会で取り上げるなどしてございまして、軽減に向けて工夫をしているところです。各校長先生や役員の方々にも丁寧にお会いして、無理のない範囲で、むしろ教育ということで何かを学ばなければならぬということよりも、今、A委員から御指摘のあったように、お母さん方がつながって、精神的な安心感を持つことが子育てに非常に重要だということの観点から、楽しむような内容でいいのではないかと、あるいは学校行事と一緒にやるという形で負担を軽減する、あるいは回数そのものを減らすこともやぶさかではないですよということを知らしております。今後とも工夫をしていきたいと思っております。</p>
C委員	<p>ありがとうございます。</p>
B委員	<p>学校給食課のところで、4月6日、中電デマンド運用云々と書いてあるのですけれども、中電デマンドというのは、どういうことなのか。説明していただけますか。</p>
学校給食課長	<p>済みません。表記が非常に短縮して。中部電力デマンド運用の調理員への説明ということになります。</p> <p>これは、中部学校給食センターについては、非常に電力量が大きいものになっております。そうした中で、日々外調機ですとかエアコン、空調、そういったものを運用しておりますけれども、その場では中部電力から、より節電に向けた方法ですね、デマンドの運用ということで、要はスイッチの入り切りをすることも一つありますけれども、それから効果的な冷やし方と申しますか、空調の運用の仕方、そういったところの説明を受けまして、最終的には、中部電力は電力を売るほうですけれども、節電に向けた方法を説明いただいたところです。これについては、日々調理員が関わっておりますので、調理員としても、</p>

B委員
委員長
B委員

そういった研修を受けて、説明を受けて、全体で努力していきましようという会議をやりました。

分かりました。

その他、ございますか。

もう一つ、スポーツ振興課の関係ですけれども、ナイター受付というのが、4月と、それから予定の5月にもあるのですが、このナイター受付というのは、夜のスポーツ施設のことを言っているのか、何のことを言っているのかよく分からない。ナイターとは、ナイトゲームの意味ですよ。

スポーツ振興課長

このナイター受付につきましては、学校に設置してある夜間照明灯、あと阿知ヶ谷にあるスポーツ広場なのですけれども、その夜間照明施設の受け付けというものになります。夜間7時から9時までの利用について、グラウンドと併せて貸し出しをしている、その施設です。

B委員

そうしますと、昼間というか、明るいうちの受け付けというのは、それとはまた別になっているわけですね。

スポーツ振興課長

昼間につきましては、学校で受け付けをしていただく。例えば土日の昼間ですとか、そういった部分については、学校の校長先生の許可の範囲の中でやっていただいて、それに附属しているナイター照明の貸し出しということで、併せてグラウンドをお貸しする。スポーツ振興課でやっているのは、夜だけの貸し出しになります。

B委員
委員長

はい、分かりました。

では、私から、一つお願いします。職場体験のことです。

給食センター、それから図書館と、まちの事業所の受け入れということで、本当にありがたく思っております。図書館のところに、2校同時に受け入れがありまして、本当に御苦労があるかと思いますが、同じ島田の中学生と一緒に職場体験をするということも貴重な体験だと思います。よろしくお願いします。生徒の皆さんにも、本当に仕事の内容だけではなく、職場の御苦労なども学んで欲しいと思います。よろしくお願いします。

図書館課長

なるべく多く受け入れをしたいと思っているのですけれども、やはり重なってしまったときにはお断りしたりすることもあります。人数調整をしまして、なるべく多く受け入れるような形をとっていきたいと思っております。

委員長
C委員

お願いします。ありがとうございます。

スポーツ振興課長にお願いします。

きのう、マラソン大会実行委員会の1回目が開かれました。去年も、しまだ大井川マラソンinリパティということで、アールビーズスポーツ財団から100選の大会の中に選ばれました。これには、大会がいつも大体天候不順になるのですが、スポーツ振興課が会場の整備を非常に頑張っていたので、ベースがきちんとしていたので、こういった開

	<p>会ができたなと思います。ことしも天気がどうなるか分かりませんが、本当に表には出てこないのですけれども、スポーツ振興課として日々の努力がこういう形で成果があったということは十分承知しておりますので、また、ことしも頑張ってお手伝いしたいと思っています。よろしくをお願いします。</p>
<p>スポーツ振興課長</p>	<p>ありがとうございます。例年、その大会に併せて、いろいろな周辺、植栽ですとか、そういったものもやっているとっておりますので、今年度も大会に併せて、なるべくきれいな形でお客様をお迎えできるように頑張っていきたいと思っていますので、よろしくをお願いします。</p>
<p>C委員 委員長</p>	<p>お願いします。 その他、ございますか。 無いようですので、次に移ります。</p>
<p>委員長</p>	<p>付議事項 14ページです。議案の審査を行います。 付議事項は、1件ごとに審査いたします。 議案第26号について、説明をお願いします。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>議案第26号島田市教育環境適正化検討委員会委員の委嘱または任命についてです。 ここにありますように、委員を委嘱しまして、また任命するものとしたと思います。 任命年月日は5月15日です。第1回の会も5月15日に予定しており、そこで任命をする予定です。 氏名等について、もう一度説明させていただきますと、学識経験者としては、静岡大学の武井敦史先生。 同じく学識経験者として、昨年度もありました在り方検討委員会の委員をやって、経緯もよく分かっていることと、また、神座の自治会長の経験もあるということで、池ヶ谷俊幸さんをお願いしております。 あと、各地域の保護者代表として、湯日、伊太、神座の保護者。 市P連の会長、保護者代表として、島田第一小学校の良知克明さん。 未就学児童の保護者代表として、森山佳久さん。 学校関係の複式学級を抱える校長として、小島忠光校長。 近い将来、生徒が減少する傾向がある北中学校の伊藤冬久校長。 裏側へ行きまして、教頭の代表、そしてまた大規模校からの視点も必要と考え、畑浩教頭。 あと、主幹教諭ですけれども、大規模校の教諭の代表として、中村伸也教諭。 あと、自治会長としては、北部地域の代表として、仲安寛自治会長。 あと、湯日地区の榛葉徹自治会長をお願いする予定です。よろしくをお願いします。</p>

委員長

議案第26号について、説明が終わりました。質問がありましたら、お願いいたします。

よろしいですか。

無いようですので、議案第26号について、原案どおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」という者あり)

社会教育課長

異議なしと認めます。議案第26号は、原案のとおり承認されました。続きまして、議案第27号について、説明をお願いいたします。

六合公民館運営審議会委員の委嘱についてでございます。

前回、議決をいただきましたけれども、そのときに未定となっております地域代表者の枠について、道悦島の自治会長から選出がありましたので、長田守正さんをお願いしたいと思います。よろしく御審議ください。

委員長

議案第27号について、説明が終わりました。御質問がありましたら、お願いいたします。

無いようですので、議案第27号について、原案どおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」という者あり)

社会教育課長

異議なしと認めます。議案第27号は、原案のとおり承認されました。続きまして、議案第28号について、説明をお願いします。

同じく初倉公民館運営審議会委員の委嘱について、お諮りいたします。

前回、既に議決をいただいておりますが、未定でありました2人について、社会教育関係者の枠として、初倉生涯学級学級長の蟻ヶ谷政次様、それから同じく初倉あゆみ学級元学級長であります、植田朝子さんの2名を委嘱したいと考えるものです。御審議ください。

委員長

議案第28号について、説明が終わりました。質問がありましたら、お願いいたします。

無いようですので、議案第28号について、原案どおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」という者あり)

社会教育課長

異議なしと認めます。議案第28号は、原案のとおり承認されました。議案第29号について、説明をお願いいたします。

島田市社会教育委員の委嘱について、お諮りいたします。任期満了に伴う改選でございます。

ご覧のように、新任の方はお二人、再任の方は8人でございます。一番下のところ、公募によりまして、新任の青山朝美さん、それから上の2番目、学校教育の関係者ということで、川根中学校PTA役員の村松岳様を新任としてお迎えしたいと考えております。よろしく御審議ください。

委員長	議案第29号について、説明が終わりました。質問がありましたら、お願いいたします。
C委員 社会教育課長	一番下の青山さんという方は、どのような方ですか。 子ども会活動とか、そういう活動をやられている方です。あとは、PTA会長をやられたということで、子どもの視点を入れたいなということで、選任いたしました。
委員長	よろしいですか。 その他、ございますか。 無いようですので、議案第29号について、原案どおり決することに異議ございませんか。
	(「異議なし」という者あり) 異議なしと認めます。議案第29号は、原案のとおり承認されました。次、議案第30号について、説明をお願いします。
図書館課長	島田市立図書館協議会委員の委嘱について、お願いします。 前回、8名の方について御議決いただいておりますけれども、そのとき未定でありました2名について、今回お願いするものです。 委員は、学校校長会から推薦をいただきました郷裕利子さん、それから市の教育研究会から推薦をいただきました森下純子さんのお二人をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。
委員長	議案第30号について、説明が終わりました。質問がありましたら、お願いします。 無いようですので、議案第30号について、原案どおり決することに異議ございませんか。
	(「異議なし」という者あり) 異議なしと認めます。議案第30号は、原案のとおり承認されました。次です。議案第31号について、説明をお願いします。
文化課長	島田市史編さん調査協力委員の委嘱となります。平成28年度まで、金谷地区に取り組んでまいりました。そして、平成29年度は近世金谷宿史料の編さんとなります。 そして、調査としては、旧島田市、大津、六合に取り組む予定で、本日、新となっております方々、菅沼、星野、斉藤、園田、4氏については、その地区ということになります。特に平成29年度は、六合地区を中心に作業となります。
委員長	協力委員は、現調査委員の紹介、そして古文書を借りるために地区で信頼を寄せられている方、地理的、歴史的に地区のことをよく知っている方ということで、この4氏をお願いしたいと考えています。 議案第31号について、説明が終わりました。質問がありましたら、お願いします。 無いようですので、議案第31号について、原案どおり決することに異議ございませんか。

	(「異議なし」という者あり)
	異議なしと認めます。議案第31号は、原案のとおり承認されました。議案第32号について、説明をお願いします。
文化課長	議案第32号、前回の定例会で決まっておりました部分、島田市博物館協議会委員の委嘱ということで、学校関係者ということで、六合小学校の山口泰弘校長に委嘱をしたいと思います。
委員長	議案第32号について、説明が終わりました。質問がありましたら、お願いします。
	無いようですので、議案第32号について、原案どおり決することに異議ございませんか。
	(「異議なし」という者あり)
	異議なしと認めます。議案第32号は、原案のとおり承認されました。次に移ります。
委員長	協議事項 今回は協議事項はありませんので、次に移ります。
委員長	協議事項の集約 次回教育委員会定例会における協議事項の集約についてです。事務局からの提案をお願いします。
教育部長	次回の協議事項の集約については、事務局側からはございませんので、よろしく願いいたします。
委員長	各委員からの提案はございますか。
	(「なし」という者あり)
	無しということで、それでは、次に移ります。
委員長	報告事項 報告事項です。質疑は、報告が全て終わってからお願いいたします。教育総務課の25、26、27ページまで一緒にお願いします。
教育総務課長	それでは、まず25ページをお開きください。 平成29年3月分の寄附の受納についてでございます。 島田第一中学校に対しまして、第一中学校のPTAから保健室用のベッド、それから鏡、姿見につきまして寄附をいただいております。 続きまして、26、27ページをご覧ください。 平成28年度1年度分についての寄附の受納の報告でございます。 ご覧のとおりで、合計671万8,170円という金額で頂戴してございます。中でも一般社団法人谷田川報徳社様につきましては、寄附の合計で235万6,000円を頂戴しております。また、大口の中では、ネスレ日本株式会社島田工場様から、リサイクル培養土につきまして、市内の小中学校23校、これは伊太小学校、第一中学校を除く学校でございますが、そこに対して259万7,600円分の培養土を頂戴しています。
委員長	ありがとうございました。 次です。平成29年3月分の生徒指導及び新年度の生徒指導方針につ

学校教育課長

いて、お願いします。

平成28年度の生徒指導について、簡単に説明します。

問題行動ですが、平成28年度は、小学校は増加傾向が見られました。特に小学二、三年生から多数報告されていまして、同じ児童が繰り返す傾向がありました。小学校低学年の問題行動については、発達上の課題と絡んでいるケースや、保護者も巻き込んだケースもたくさんあり、対応に苦慮している学校が見られたように思います。新年度も同様のケースが起こる可能性があると考え、各学校の実態に応じた対応を求めているところです。

中学校においては、中学2年生で問題行動が多数報告されています。

不登校について、平成28年度ですけれども、不登校児童生徒数は、昨年度と比較すると増加傾向にあります。大幅な増加の原因というのは特定できませんが、島田市の生徒指導上の大きな課題と考えております。本年度、勝負の年と校長会でも言ったところです。

いじめに関することですけれども、いじめにつながる事実、市独自で行っている調査です、いじめ認知件数ともに、昨年度よりも大幅に増加しています。これは、文部科学省が推奨しているように、島田市の各学校においても、いじめを積極的に認知するように指導していることによりまして、より早期対応できるように、学校の姿勢としてたくさん上げなさいという指導に基づくところが大きいと思います。早く認知して、早期対応、未然防止を志しております。

教育センターでは、問題行動や不登校等と比例しまして、不登校や発達障害、家庭での相談が多くなっております。曾根公美子特別支援員教育相談室のほうも、小学校の保護者との対応は非常に多い傾向があります。

交通事故においては、中学生の自転車の事故が特に突出して多い傾向があります。中学生になると、自転車によって行動範囲が広がるということもあります。

不審者の情報に関しましては、昨年よりは少なかったですが、春先にかけて年々多くなってきますので、またこれからも注意していきたいと思っております。

資料の30ページ、平成29年度の島田市生徒指導基本方針というものがありません。島田市でやってきて、大きな成果を上げているところでもありますので、継続または改善を一層図って、平成29年度も、先ほど勝負の年と言いましたけれども、より注意を払って取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願いします。

委員長

ありがとうございました。

社会教育課長

次に移ります。公民館類似施設について、お願いします。

社会教育課から報告が32ページから、委員関係が36ページでござい

ます。

まず32ページですけれども、公民館類似施設の運営委員会の委員の委嘱については、設置者が市長ですので、決定したことを報告します。

32ページの上段が、大津農村環境改善センター。新任が4名、再任が2名です。

それから、2番目の伊久身農村環境改善センターについては、全て再任でございます。

33ページに行きまして、北部ふれあいセンターについては、新任が3名、再任が3名です。

その下段、4番目の初倉西部ふれあいセンターについては、新任が3名、再任が3名でございます。全て任期満了による改選でございます。

続きまして、34ページですが、川根地区センターについては、2年任期の途中ではございますけれども、出身母体の代表者が代わりましたので、新しく株式会社まちづくり川根の会の岡埜谷明宏さんをお願いをするものでございます。それ以外の委員については、35ページをご覧ください。

続きまして、36ページでございます。生涯学習推進協議会委員の委嘱について、御報告いたします。

ご覧のように、新任が一番下の藤井隆一さん。これは、青年サークルの会長として、主に金谷地区で子供たちの田植え、あるいは稲刈りなどの事業に協力していただいている方です。年齢は30代でございます。この方を新たにお迎えして、このように委嘱をいたしました。

37ページをご覧ください。別添で資料をお分けしております。

平成29年、平成28年の成人式の新成人に対するアンケートで、追加で御報告いたします。

平成29年の成人式アンケートについては、満足度や参加率についてはこういったことですが、平成28年に引き続き、愛着度と帰巢性に関する相関関係のアンケートもございますので、御報告いたします。

アンケート用紙を先に御確認いただきたいのですが、資料の5、6ページです。

5ページが平成29年、6ページが平成28年に実施した内容で、問5で島田市が好きかということ聞いた上で、平成29年の5ページにおいては、問8で島田に住みたいか、あるいは戻ってきたいか、平成28年の6ページにおいては、問7で同じ質問をしております。

というところで、2ページにお戻りいただきたいと思っております。

平成29年、平成28年とも、島田市がとても好き、あるいはそこそこ好き、好きでないといった群に分けたところでは、とても住みたい、あるいはそこそこ住みたい、住みたくないという割合が、平成29年の

ところで見ますと、とても好きの群では53%、好きではないというところは1.5%と。このように、島田市への愛着度と帰巢性には大きな関係性があるということが2年連続で確認できたと思います。ですので、今、教育委員会で進めている地育、地元愛を育てることが、将来外に出て転出していた青年たちを島田に呼び戻すのに効果的ではないかというところです。

それから、3ページで、島田市に戻ってくるために大切なことは何かという問いに対しては、2年とも大体同じような傾向がありまして、一番下の「家族」というのが一番多いです。次に、「友達がいるから」。3番目が「仕事」ということで、これは大学2年生の相当のところですので、まだ就職活動にどれほどの関心があるかという点はございますけれども、新成人にあっては、このような傾向があると考えられます。家族愛、あるいは友達との関係性というのを良好にしていけば戻ってくる気持ちも高まるかもしれないという御意見でございます。

平成29年につきましては、4ページのところです。ボランティアの経験の有無と愛着度、あるいは帰巢性について調査しましたが、大きな変化はございませんでした。ですので、他の要因が絡んでいる可能性はありますけれども、直接的にボランティアの経験の有無と愛着度、あるいは帰巢性に相関関係は、今回の調査では見られませんでした。

成人式に絡みまして、次回平成30年の成人式の実施概要を市長に決裁されましたので、御報告します。

今回は、平成30年1月7日日曜日。時間と概要等については、ほぼ平成29年を踏襲した形で実施したいと考えています。場所もローズアリーナです。

今回の対象予定者は、一番下、6のところにあるとおりです。全体で1,039人の対象者となっております。

委員長

ありがとうございました。報告事項について、何か御質問ありましたらお願いします。

B委員

学校教育課長に確認といたしますか、教えてもらいたいのですが、30ページの生徒指導基本方針、これは学校現場での教職員の人向けの資料といたしますか、基本方針なのでしょうか。

学校教育課長

そのように捉えています。

B委員

これは、大分前から使っておられますか、それとも新しくできたものですか。

学校教育課長

前指導主事の時、今のこの形になったと思うのですが、内容的には、私が担当したときと根幹の部分では大きく変わっていないと思っております。

B委員

30ページの真ん中あたりの努力点というところに、③のところに初めて見る言葉なのですが、「教職員の同僚性に基づく情報共有」。この

学校教育課長

同僚性という言葉が非常によく分からないというのか、初めて見る言葉ですし、辞書にも載っていません。同僚はあります。英語ではcoworkerだと思います。そこに性を付けるということで、すごく持って回ったというのか、まだ別の意味があるのかなど。私の理解では、多分ここは「教職員同士の情報共有」と素直につなげれば、こういう意味ではないですか。

それで結構だと思います。同僚性という言葉は、行政で、そういうようなことを特段、近年、教職員の年齢的なバランスが崩れたり、行政のいろいろな改革が行われている中でさまざまなギャップが生じているので、改めてそういう異年齢の教員の同僚性を高めなさいという事業が、今、たくさん行われているところで、多分そういう言葉をここで使ったのだと思います。なので、現場の先生方は同僚性という、あのことかというようによく分かる部分もあるのですけれども、一般的な理解のためには、今おっしゃったとおりの言葉で変えていただいても全く問題は無いと思います。

B委員

分かりました。私の立場でこれをどうしてほしいと要望するというか、要求する立場ではないと思うので。ただ確認したかったので。学校の先生方は、これを見れば間違いなく分かるということで。

もう少し言いますと、同僚性というのは、例えば同期に新採になったか、それに近いぐらいの世代のことを言っているのか、同じ学校の教職員全体を含めた、そのグループを同僚性と言っているのか、例えばいろいろな考え方があると思うのですけれども、そういう限定の仕方があるのでしょうか。

学校教育課長

さまざまな同僚の考え方は、やはりあると思いますし、学校の教員の問題というのは、現実として50代以上が非常に多い。学校によっては半分以上占めている。そして、30代後半から40代前半が全くいない。通常であれば、同年代近辺の方々でいろいろな技術的なものであったり、経験的なものが伝わっていくのですけれども、それが現在行われていない組織構成があって、そういう中で異年齢の、学校全体の組織の中でそういうものを伝えていかなければならないということで、同僚性に基づくさまざまな試みが、今、学校現場でなされているところです。

B委員

ついでに。その学校教育課ではない他のところでも、行政の用語として、これは割合一般的でしょうか。どなたでも結構ですが。

教育部長

私もこの生徒指導基本方針を読んで同僚性というところが、今の3の努力点、③のところとか、あと右側にある絵の中に載ってきて、非常に同僚性という言葉に対して違和感というか、余り聞きなれない言葉だなと考えています。これは行政のほうでも、いろいろと自分の経験の中で同僚はありますけれども、同僚性という、B委員がおっしゃったような形で性質扱いというか、性格扱いにするというのは、余り

B委員

聞きなれない言葉だなと思います。

分かりました。ありがとう。

このぐらいにして。

委員長

その他、ございますか。

B委員

もう一つ、新成人のアンケートですね。これはアンケートの用紙、アンケート自体は、この5、6ページにある形でしたのだと思うんですね。これを集計してまとめたところで、「愛着度及び帰巢性に関するアンケート調査結果」と、ここではタイトルが出ています。まとまった時点でこの言葉が使われたのかなと思うのですが、この帰巢性に、やはり性が、たまたまつきます。帰巢性という言葉は、もちろんあるわけです。でも、この帰巢という言葉は、普通、人間には使わない言葉だと私は理解しているのです。辞書で確認しても、やはり通常は昆虫とか、それから動物ですね、普通はこういったことに限って使う言葉であって、ほとんどが本能的な性質を備えていることを前提にしている、他の別の要因で帰っていくことは、普通はないわけです。そのように考えると、まとめたときのタイトルにすると半ば公文的な扱いに最後はなると思うのですが、そういうことでこれが残るのはまずいのではないかと私は思って心配しているのです。帰巢性という言葉に代わる、別の言葉をぜひ考えていただきたい。相手を動物扱いというとおかしいですけども、成人ですから、でも子供扱いのような感じもしないでもなく。気持ちは、よく分かるのですよ。飲み会でこの話題を出して話すのであれば、半分笑って、オーケーで通用する話です。でも、公文書として、役所が発行したものとして、残る形として、この帰巢性という言葉は危ないと思うのです。

社会教育課長

御指摘、ありがとうございます。

帰巢性については、随分調べたところではあったのですけれども、そういう一般的な誤解を受けやすいようであれば、いわゆるUターンとかIターンとかJターンとか、そういう地方創生に沿っているような表現にしたいと思います。目的は、そちらでございます。動物行動学を研究しているわけではないですから。

B委員

はい、そうですね。

社会教育課長

これについては、まだ公表しておりませんので、その後、ホームページで公開して、他の団体、自治体などの参考になればという面もありますので、そういった誤解を招かないような表現に配慮したいと思います。

B委員

よろしくをお願いします。

社会教育課長

資料に誤りがありましたので、訂正をお願いいたします。

報告事項の34ページ、川根地区センターの岡埜谷明宏さんの摘要欄の出身団体ですけども、株式会社、(株)とありますが、NPOの間違いですので、大変失礼しました。まちづくり川根の会はNPO。大

委員長

変失礼しました。

そこを、NPOに訂正をお願いします。

そのほか質問はありますか。

A委員

生徒指導の報告の中に、発達上の課題とか保護者、家庭という言葉がよく出てくるのがこのごろ気になっているのですけれども、学校の先生方がすごく頑張ってくださいっていて、私自身もこのごろ学校からお電話をいただいて、担任の先生、学年主任の先生とお話する機会があったのですけれども、本当に丁寧な対応をしてくださっていると感じています。ただ、その一方で保護者の立場からしますと、学校の先生方とどう関わっていったらいいかわからない。関わり方がわからないというところもありますし、学校から連絡を受けたこと自体、親としてはすごくショックを受けるので、学校教育とはまた違った視点で、社会教育の場面になるかと思うのですけれども、その保護者の方に、学校とこういう関わり、先生方とこのように関わっていくと上手にコミュニケーションがとれるよとか、そういうことが恐らく家庭教育学級につながる、地育などを使ってできるのではないかと思います。またそのようなことも御検討いただければと思います。

あと、発達上の課題なのですからけれども、これもまた発達障害という言葉が、今、ひとり歩きしているところもあるので、そこを、学校に上がったところではなくて、もっと早い時点から正しい情報を保護者の方に流していくということが、これからすごく重要になっていくのではないかと思います。またそのあたりも社会教育の場面になってくるかと思うので、ぜひそこと連携して、よりよい家庭と学校の関係が築いていけるようにしていただけたらと思います。よろしくをお願いします。

社会教育課長

御指摘、ありがとうございます。

今、社会教育課では、0歳から39歳まで、つなぎ目のない支援体制を組んでおります。具体的には関係各課、健康づくり課、子育て応援課、社会福祉協議会、それから就労に関しては商工課、あるいは教育センター等と、全ての担当者が集まって、2か月に1回会議を持っております。ですので、その中で各セクションと連携をして、どういうことをやっていけば円滑に上がっていけるかということを取り組んでいるところです。具体的には、藤枝市が取り組んでいましたカルテのような、これを乳児健診の終わった、保育園、あるいは幼稚園の段階で、気になる子、グレーな子について、早い段階から小学校の方からの知見を含めた形で、専門家が集まって、親の同意をとって、その子にベストな支援計画を立てていると。それは、小学校、あるいは中学校に、みんなの同意のもと、引き継いでいかれるようなことを計画しているところです。御指摘、ありがとうございます。

学校教育課長

御指摘のところ、本当におっしゃるとおりだと思います。社会教育

A委員
委員長

の側面から多数取り組んでいただいているのも大変感謝しておりますが、教育センターの相談件数を見ますと、やはり学校と本市の間に立っている部分も大変多くて、平成27年度から平成28年度、不登校の相談については2倍近く、発達障害についての相談も2倍近く、家庭についての相談は5倍近くというように、教育センターのほうも、その学校と保護者の間に立つような、また相談できるような機関になりつつあるのかなと思っております。

あと、就学前の発達障害等への対応については、学校教育課としても大変課題だと思っております。各課で取り組んでいただいているのですけれども、それをもっともっと束ねていく必要があるのではないかと、本年度、退職校長が子育て応援課に1人入りましたけれども、そのような形で期待をしているところですが、他市の低学年の就学支援率を見ましても、まだもっと努力の必要があるなと思っております。他の垣根を越えた、もっと多くの連携が必要だと考えております。

ありがとうございます。

その他ございますか。

私から、生徒指導のことでお願いします。

毎月の生徒指導の報告を読ませていただくと、この二重四角のところが本当に、危機感であったり、信頼関係の大切さであったり、とても大切なことを伝えていただいています。4月以降もこのような形で恐らく報告が作られていくと思いますが、この報告書の扱い方というか、各学校さまざまなのでしょうか。それとも、このように使ってください、活用してくださいと、何か決まりがあるのでしょうか。

学校教育課長

ただ数字を学校へ伝えても、捉え方はさまざま、温度差もあると思いますので、必ずこの資料をもとに、校長会、教頭会のほうで、具体的な施策として提示をしているところです。ですので、数字だけではなくて、成功事例等も含めて、校長会、教頭会、また生徒指導研修会、その他さまざまな研修会を通して、具体性を持って伝えているところでもあります。

委員長

そうすると、各学校の校長、教頭、生徒指導主事の先生方が持ち帰り、先生方に伝えるということですね。この報告書は毎月、大事なことが載っていますので、先生方が個々に手元において、常に意識できるといいと思います。そういうところも進めていただければありがたいです。

学校教育課長
委員長

最大限の努力を今後もしていきたいと思っております。

お願いします。

その他ございますか。

よろしいですか。

無いようですので、次に移ります。

その他

委員長

その他、会議日程です。

次回平成29年第5回定例会は、5月25日木曜日午後2時から4時、場所は島田第一中学校地域連携室です。これは、こういうことに決まっております。

教育総務課長

次回について、事務局からの提案をお願いします。

次回につきましては、定例ですと第4木曜日の6月22日になるところですが、市議会の日程の関係で、大変申しわけございませんが、翌週になります。6月30日金曜日午後2時から4時までで計画させていただきたいと考えております。

会場につきましては、市役所本庁舎の3階、第二委員会室を予定しております。

委員長

よろしいですか。

B委員

はい。

委員長

それでは、次々回の定例会は、平成29年6月30日金曜日午後2時から4時、場所は市役所本庁舎3階、第二委員会室で行います。

以上で、本日の定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉 会 午後3時23分